



# 青島の風

青島日本人学校だより  
平成30年9月7日  
校長 金森孝子

## 創立15周年の節目の行事

朝夕の風に、季節の変化を感じる9月、本格的に2学期の大きな行事への取組が始まりました。

登校すると、子どもたちはすぐに着替え、朝の活動に取り組みます。小学部の月・水・金はファンタイムですが、火・木は、運動会に関わる活動に取り組みます。中学部も朝自習の時間を活用して、応援の練習を始めました。応援団は、小学部、中学年が別々に結成し、それぞれの感性を生かしながら自分たちの手で演技を作り上げます。小6中3が応援のリーダーとなり、紅白の団長を中心に、練習の進め方や気持ちの盛り上げ方にも気を配ります。そして、小学校4年以上は全員が係仕事など責任ある役割を受け持ちます。少規模校ゆえの負担ですが、子どものやる気はうなぎのぼりです。今後、子どもたちが、どのように変化していくのか、本当に楽しみです。

休み時間には、音楽室で和太鼓に挑む子どもたちが集まってきます。音楽の授業で本格的に練習が始まったことから、子どもたちの「上手になりたい」という気持ちが、率先した行動につながっているように思います。この和太鼓演奏は、本校の伝統として、ひとつ上の学年が教えることで受け継がれてきました。先輩、後輩の関係を築く良いチャンスにもなっています。秋が深まる頃、学習発表会、日本人会の集まり等でお披露目できることと思います。どうぞ、ご期待ください。

大きな行事を通して、子どもは飛躍的に成長します。それは、共通の願い、見通しやめあてをもって、集団で様々なことを解決し進んでいくからです。今年は、15周年という節目の年。開校当初から今日まで力を尽くされた方々に、今の青島日本人学校の子どもたちの姿を、その成長過程を感じながら見ていただき、喜んでいただきたいと思えます。青島日本人学校の孩子们、真的极好。



## 運動会の見どころ

行事担当 福留さゆり

9月22日(土)に第15回青島日本人学校運動会が開催されます。「超えろ 限界!見せつけろ 我らの青島魂!」のスローガンの元、子どもたちは日々、練習に励んでいます。

小学部1~4年生は、ソーラン節を踊ります。今年は「シンクロソーラン」です。皆の動きがピッタリと合いシンクロするように、4年生をお手本にしながら練習をしています。

小学部5年~中学部の表現演技では、中学部が中心となって振り付けを考えたり、小学部に教えたりと意欲的に取り組んでいます。動きに自分の気持ちや思いが込められるように、細かい動きを確認しながら練習を進めています。

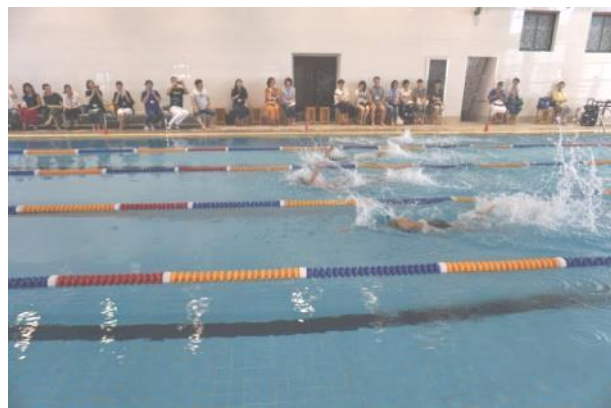
勝ち負けばかりに気を取られてしまいがちですが、子どもたちは練習を通して、仲間と協力すること、仲間を理解し支えること、自分の苦手なことを認め向き合うことなど、多くの大切なことを学んでいます。運動会当日は、子どもたちの全力で勝利を掴みに行く姿、練習を通して成長した姿をぜひご覧ください。また、温かいご声援よろしくお願ひ致します。



# 水泳記録会！

体育主任 鹿野誠一郎

8月24日、多くの保護者の方々の応援の中、平成30年度の水泳記録会が盛大におこなわれました。毎年、小学部3年生から6年生までの子どもたちが、この日を目標に6月より水泳学習に取り組みます。今年例年と違い、夏休み中の水泳教室がありませんでした。中には、初めての水泳記録会で、少し泳ぎに不安を残している児童もいました。しかし、大会当日の児童呼び出しのアナウンスがかかると、全員の子どもから元気な返事と力強い決意発表が……。場内からたくさんの拍手が鳴り響き、不安な様子などみじんも見せないかっこいい姿がありました。そして、全員が、練習より良い記録でゴールすることができました。平泳ぎとクロールの中から上位10名が決勝にすすみました。今年は4年生の姿が目立ちました。これからの、泳力向上が楽しみです。一人ひとりにドラマが生まれ、思い出多いすばらしい水泳記録会になりました。



## 教室の窓 (6年)

6年担任 富川淳

「SMILE&SMILE！」が小学部6年生の学年・学級目標です。目標を決める際にはたくさんの意見が交わされました。「けじめのあるクラス」「低学年の見本になるクラス」など、たくさんの案が出ましたが、みんなの思いが強く、取り入れたい言葉が多すぎてなかなかうまくまとまりませんでした。しかし、話し合いを進めるうちに「何事にも悔いを残さないように頑張ったなら、笑顔が溢れる。みんなが仲良くできればずっと笑顔でいられる。自分たちのキーワードはきっと『笑顔』なんだ。」と意見がまとまり、「6年生のスタートから最後まで笑顔でいられるようにしたい」「卒業式を笑顔で迎えたい」という願いを込めて、この目標に決まりました。この半年の間にも、様々なことがありました。最高学年として参加した遠足、みんなが一番楽しみにしていた修学旅行、全力を出し切った水泳記録会、いつも生活を共にしていたメンバーとのお別れ。楽しいことだけではなく、寂しい思い出もありました。すべての思い出を自分の成長に変え、卒業式に向けて歩みを進めていきます。



さあ、次は運動会。応援団では最高学年として、小学部を引っ張っていきます。それぞれが練習から全力で取り組み、全力で愉しむことを目標にしています。運動会では6年生の最高の笑顔をぜひご覧ください。

■小学部 一年／中学期  
坊ちゃん (夏目漱石)

眠床の無鉄砲で子供のときから困ばかりでいる。小学校に  
いる時分、学校の隅から飛び降りて、一週間は寝床を散らか  
したことがある。なぜそんなことをしたか、人があるからしれ  
ぬ、べつだん深い理由でもない。

新築の二階から首を出していたら、同級生の一人が冗談に、  
いくらいばつても、そこから飛び降りることはできない。 勇気  
や、い、こはやしらからである。人におぶさって帰ってきたら、  
おやじが大泣き目をして、二階くらいから飛び降りて寝床を散らす  
やつがあるかと言った。この次は寝床から首を出さずには済ませずと  
答えた。

■小学部 一年  
一寸法師 (御伽草子) より  
一寸法師は、ちやでの小づちを見て、姫君がいい  
ました。  
「これは、なんでも思いどおりになる不思議な小づ  
ち。それをふってください。」  
姫君がちやでの小づちをもつてふると、一寸法師  
がいました。  
「自分の背だけ、大きくなれ。」  
すると、どうでしょう。一寸法師の背だけはすん  
ずんのび、なんどもきれいな若者になりました。

	音 読 (おんどく)	暗 唱 (あんしよう)	2・3年
言葉 (ことば) のまじり、句読点 (くとうてん)	暗 唱	はっきりした声 (こゑ) で	
音 読・朗 読	暗 唱	リズム、間、強弱、言葉の抑揚	4・5・6年
朗 読	暗 唱	自分の特徴を生かし、自分が感じたこと考えたことが伝わるように	中学期

今月の詩、九月／十二月は、昔話・小説の冒頭部分です。

■小学部 一年  
一寸法師 (御伽草子) より  
一寸法師は、ちやでの小づちを見て、姫君がいい  
ました。  
「これは、なんでも思いどおりになる不思議な小づ  
ち。それをふってください。」  
姫君がちやでの小づちをもつてふると、一寸法師  
がいました。  
「自分の背だけ、大きくなれ。」  
すると、どうでしょう。一寸法師の背だけはすん  
ずんのび、なんどもきれいな若者になりました。

今月の詩 (九月、十月、十一月、十二月)

文章を暗唱して、昔話や物語、小説に親しもう

一寸法師の皇子を脱走してみよう

一寸法師は、ちやでの小づちを見て、姫君がいい  
ました。  
「これは、なんでも思いどおりになる不思議な小づ  
ち。それをふってください。」  
姫君がちやでの小づちをもつてふると、一寸法師  
がいました。  
「自分の背だけ、大きくなれ。」  
すると、どうでしょう。一寸法師の背だけはすん  
ずんのび、なんどもきれいな若者になりました。